

公益財団法人実務技能検定協会 令和4年度事業報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

I 事業の実施状況

本協会は、定款第3条および第4条に基づき、ビジネス実務に関する技能検定の実施により、ビジネス実務に対する学習意欲の喚起、職業教育の充実、および職業人の職業技能の向上に寄与することを目的として、以下の事業を行った。

【公益目的事業（公1）】

1 技能検定の実施

(1) 令和4年度における秘書技能、ビジネス文書技能、ビジネス実務マナー技能およびサービス接遇実務の計4種目の技能検定を、計画通り実施した（「令和4年度技能審査実施状況表」参照）。その結果、志願者合計は162,438名となり、前年度比86.9%（24,586名減）であった。

なお、秘書技能検定C B Tは、年度内の志願者合計は14,972名（2級11,874名、3級3,098名）となり、前年度比116.5%（2,119名増）という結果であった。

(2) 新型コロナウイルスへの対応

① 前年度に引き続き、「新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」（筆記試験受験者用・面接試験受験者用・団体受験担当者用）を策定し、ホームページや受験票において公開し、感染拡大防止を呼びかけた。

② 新型コロナウイルス感染者または感染の疑いがある受験者には、1回に限り受験の繰り越しができるようにした。その結果、令和5年度に受験を繰り越した志願者数は、秘書技能275名、ビジネス文書技能66名、ビジネス実務マナー技能52名、サービス接遇実務143名（計536名）であった。

(3) 令和4年8月から、クレジットカード・コンビニ決済による受験申し込みの決済サービス会社を、メタップスペイメント社からGMOペイメントゲートウェイ社に変更した。

(4) 団体受験の「取りまとめ手数料」を15%から10%に引き下げた。また、協会が会場費を負担する本会場運営団体に対しては、受験者の引受手数料を10%から5%に引き下げた（いずれも令和4年11月検定から実施）。

2 研究会・講習会の開催

(1) 秘書ビジネス実務教育担当初任者研究会（地方研究会）の実施

ビジネス系検定の普及・振興を目的として、ビジネス実務教育の担当初任者に対し、検定指導法等についての研究会を開催した。令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため前年度に引き続き「オンライン」形式での実施とした。

5月13・14日 70名出席（東北、新潟・北陸、中部、大阪、沖縄を対象）

10月14・15日 67名出席（北海道、関東、中国・四国、九州を対象）

(2) 秘書検定・サービス接遇検定準1級面接試験実施担当者資格研修会の実施

秘書検定およびサービス接遇検定準1級面接試験実施担当者の能力保持を目的に、研修会を実施した。令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため前年度に引き続き「オンライン」で実施した（3月3・4・5・11日 各検定とも185名参加）。

3 成績優秀者および成績優秀団体の表彰

令和4年度成績優秀者・優秀団体表彰式は、令和5年3月10日、アルカディア市ヶ谷（新宿区）において、受賞者47名（個人23名、24団体）および文部科学省等の来賓を含む計54名の出席を得て実施した。

各検定の表彰数

(個人)

検定	文部科学大臣賞	理事長賞	優秀賞	日本秘書クラブ会長賞
秘書	2	2	49	40
ビジネス文書	2	2	29	21
ビジネス実務マナー	2	2	16	10
サービス接遇	2	2	67	8
合計	8	8	161	79

(団体)

検定	文部科学大臣賞	団体優秀賞	感謝状贈呈
秘書	3	40	53
ビジネス文書	3	7	10
ビジネス実務マナー	3	5	5
サービス接遇	3	30	24
合計	12	82	92

【収益事業（収1）】

以下の通り、実務技能検定に関する問題著作権の提供等を行った。

- （1） 早稲田教育出版に対し、ビジネス系検定実問題著作権の提供およびビジネス系検定受験参考書の監修を行った。
- （2） ㈱ユーキャンに対し、秘書検定実問題1回分およびサービス接遇検定実問題1回分の著作権を提供した。

以上